



## 自動販売機と図書館

附属総合情報センター図書係

小林 靖明

自動販売機って便利ですよ。牛乳、水、カップヌードル、コーヒー、ビールなどのほか、中にはラーメンや焼きおにぎりの自動販売機なんていうものもあります。商品の種類の多様性は勿論、購入決済がICカードでできる機械もあります。いつでも、どこでも、種類も豊富。日本は自動販売機天国と言われます。

どうして日本ではこんなに自動販売機が普及しているのでしょうか。「便利だから」それがやっぱり第一の理由でしょうが、ほかにも見逃せない理由があります。その一つは「信頼のおける機能」。外国の自動販売機では商品が出てこなかったり、おつりが返ってこなかったりすることがよくあります。ですが日本の自動販売機ではきわめて正確に作動します。

そしてもう一つ大事なことは、自動販売機を、利用する全ての人で共有して使おうという、日本人の間にある「マナー意識」です。海外では自動販売機への落書や壊されてしまったり、拳銃の果てに自動販売機ごと持ち去られてしまうということまであるようです。

札幌医大の図書館は24時間開館を実施しています。夜の8時15分から翌朝の9時までは職員もいない無人開館です。実は札幌医大の図書館も最初から24時間開館だったわけではありません。1999年に改築された新しい図書館では改築当初から無人開館が計画され、サービスカウンターと利用者空間を電動シャッターで仕切る仕組みなどが盛り込まれました。1999年の改築時の無人開館は深夜0時までで、対象は教職員と国家試験を控えた最終学年の学部生だけでした。0時以降の保安上の懸念や、公共交通機関の稼働時間なども考慮し、24時間開館には踏み切れなかったのです。その後、全学部生への24時間開館の要

望などもあり、2007年に現在のように学内者全員と卒業生には24時間図書館を開放するシステムに移行しました。

24時間開館はどんなシステムで支えられているのでしょうか。

- ・安心と安全：IDカードによる自動入退館システム、防犯カメラ、警備室職員による夜間巡回
- ・機能性：図書資料の全面開架、日中と同じように資料の検索ができるコンピュータシステム。
- ・快適性：快適な空調
- ・経済性：確実に働く人感センサーによる自動点灯消灯システム
- ・利便性：図書の返却ポスト、簡単で確実な自動貸し出し装置
- ・整理、整頓：夜間の所持品の整理のために用意されている買い物かご

図書館側ではこのような仕組みを用意して、無人開館でも利用者が便利に利用できる準備を整えています。幸いここ最近は特に学生の利用マナーが向上し、図書館をきれいに利用していただいていることは喜ばしいことです。

しかし、一部の利用者による荷物の放置や席の占有など24時間開館の運用方法を再考しなければならないケースも後を絶ちません。自動販売機と同じく、いくら優れた機械やシステムを用意しても使う側が正しくそれを利用してくれなければその機能は発揮することができません。

図書館の24時間開館は図書館と利用者の相互協力で維持されているのです。これからも図書館を便利に利用していただくために、ご理解とご協力をいただきたいと思います。



※ 図書館に焼きおにぎりの自販機はありません。

# E-book が増えていること知っていますか？

情報センターホームページでもご紹介いたしましたが、本年9月より国内医学電子ブックパッケージ「Medical Online イーブックス・ライブラリー」の提供を開始いたしました。国内出版社の学術雑誌や医学・保健医療系図書の電子化は国外出版社と比較すると遅れているのが現状です。当センターでも電子ジャーナルと同様に電子ブックを利用者のみなさまに提供できるよう少しずつコンテンツを増やしてきました。

また、今までの電子ブックの検索は統合検索（PIRKA）からしか所蔵状況を確認できませんでしたが、10月より冊子体同様に蔵書検索（OPAC）からも利用できるようになりました。

そこで今号のBarksでは本学で利用できる電子コンテンツについてご紹介いたします。なお、本学の電子コンテンツは当センターホームページの「図書館サービス」→「電子コンテンツ」より利用が可能となっていますので、是非、ご活用ください。

## 1 電子ブック（E-book）

### (1) Medical Online イーブックス・ライブラリー

株式会社メテオが提供する医学・医療分野の電子ブックです。同時アクセス数無制限で利用できるとともに（一部 例外あり）、書籍内の全文検索に加え、PubMed やメディカルオンラインへのリンクができます。また、閲覧中の書籍に付箋を付けたり、メモを書き込むことが可能です。付箋やメモは再貸出を行った際にも利用もできます（図1）。

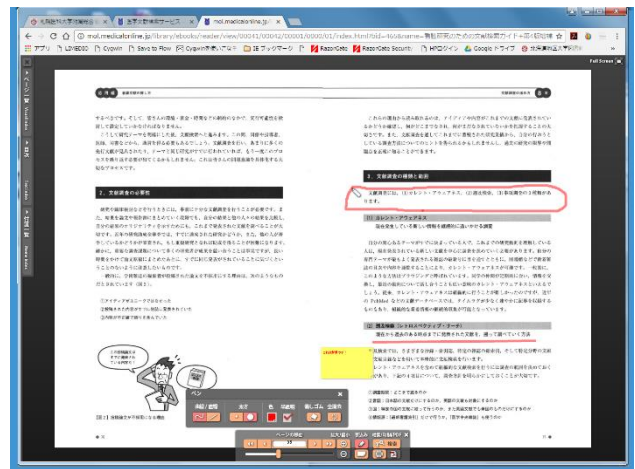


図1. Medical Online イーブックスの本文表示（黄色枠は付箋、赤線は書き込み）

### (2) Maruzen eBook Library

丸善雄松堂株式会社が機関向けに提供する電子ブックサービスです。参考書・レファレンス、啓蒙書・教養書、専門書などの電子ブックから、医学医療関係の図書 352 点を購入しています。「印刷・保存」（1 回につき 60 ページまで）。のほか、閲覧している書籍の情報をメールで送信したり、あるいは文献管理ソフト用に出力するなどの機能があります。

医学部シラバスでも教科書に指定されている「内科学書」（中山書店発行）は、当センターでも利用が多い図書ですが、ようやく電子化となり、本学でも3月から電子ブックで提供しています。ご存知でしたか？

### (3) ProQuest Ebook Central

ProQuest 社が提供する洋書電子ブックのプラットフォームです。2016 年現在、大手学術出版社を含む約 650 社以上、80 万タイトルをフルテキストで提供しています。本学では、医学および看護分野の約 11,000 タイトルと生命科学分野および科学技術分野の約

28,000 タイトルの利用が可能です。書籍の検索ダウンロード、閲覧中の書籍へのコメントの追加・お気に入り書籍リストの作成など、豊富な書籍活用機能を搭載しています。

### (4) Doody's Core Titles

Wiley 社が発行する書籍の中から 200 人以上の専門家・医学図書館員が公平な立場から選定した医学・看護・保健科学系図書館のための基本図書です。各国の医学図書館から高い信頼を得ています。

本学では 2013 年版リストに収録された医学書のうち、65 タイトルが利用可能です。

### (5) LWW 社 Oncology Book Collection

Lippincott Williams & Wilkins (LWW) 社が発行する電子ブックシリーズの「Oncology Collection」です。本学では、文部科学省「戦略的学連携支援事業（大学院連携 GP）」の推進を目的としています。

タイトルの詳細については当センターホームページでご確認ください。

## 2 その他のコンテンツ

### (1) 人3D解剖図譜 Visible Body

Wolters Kluwer 社の「3次元人体解剖画像ツール「Visible Body」は、2015年1月に“世界で最初に本学が！”提供を開始いたしました(図2)。

このツールは、骨や筋肉、臓器、皮膚等、それぞれ体のパーツの人体解剖画像を水平・垂直方向に360度回転させられるだけでなく、斜め方向へも回転させて静止画、動画で閲覧でき、筋肉の動きや診療方法等を調べることができます。

また、表示中の画像に対してメモを付けられるほか、メモも含めて自分のパソコンに保存できます。保存した画像は講義資料や学会発表等で配布することができます。

### (2) 医学書院医学大辞典

医学書院が提供している「今日の診療」のほか、「医学大辞典」、「看護大事典」、「理学療法事典」、「ポケット医学英和辞典」の参考図書が電子版で利用できます。

例えば「今日の診療」は約76,000件の用語解説、約20,000件の治療薬を収録している国内最大級の総合診療データベースです。疾患名から検索し、治療法・処方・検査・医薬品情報などを表示します。また、疾患の概念や病態、臨床所見なども収録しています。症状から検索し、診断のプロセスを即座に把握することができます。

### (3) Web版ステッドマン医学大辞典

メジカルビュー社が出版している医学辞典で、新コンテンツ「医学英語活用辞典」を新たに加え、ますます便利になっています。医学英語論文の執筆・読解に必須の辞書、「リーダーズ英和辞典」、「リーダーズ・プラス」、「新和英大辞典」も同時検索が可能で、「連語検索」以外は英語・日本語ともに検索可能です。

56,000語の発音音声も収録。スピーカーアイコンをクリックして再生ができます。約550点のイラスト・写真・図表を収録しています。

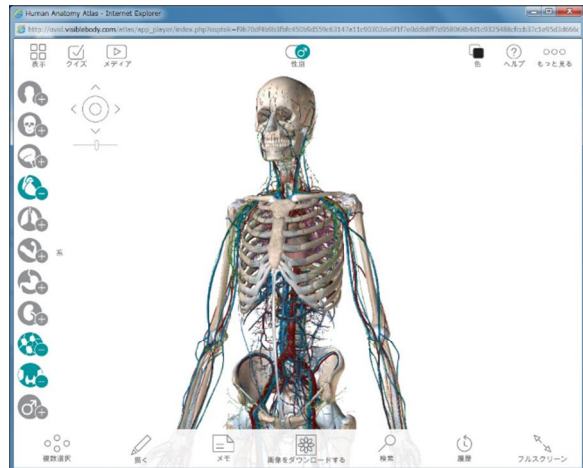


図2. Visible Body スクリーンショット

今回ご紹介した電子コンテンツは、本学所属員であれば、どなたでもご利用いただけます。また、自宅などからのリモート・アクセスを通じても利用できます。

本稿でご紹介しましたコンテンツについてご不明な点がございましたら当センターの下記担当までお問い合わせください。

〔利用に係るお問い合わせ〕

担当：利用サービス

内 2418 e-mail: [libserv@sapmed.ac.jp](mailto:libserv@sapmed.ac.jp)

〔コンテンツの購入に係るお問い合わせ〕

担当：図書係

内 2416 e-mail: [book@sapmed.ac.jp](mailto:book@sapmed.ac.jp)



### **PDA(利用者主導型購入方式)を試験導入します!**

大学図書館など機関による電子ブックの購入方法の1つに閲覧回数で購入を判断するPDAと呼ばれるサービスがあります。本学でもより学生のみなさまが利用される電子図書を提供することを目的にPDAの試行を予定しております。詳細につきましては、決定次第、あらためて当センターホームページでお知らせいたしますので、ご協力をお願いいたします。

(図書係 e-mail: [book@sapmed.ac.jp](mailto:book@sapmed.ac.jp))

## 図書館業務体験プログラムに参加して

藤女子大学 文学部 日本語・日本文学科 3年  
佐々木 梨乃

私は、2016年8月29日～2016年9月2日の5日間に渡り、札幌医科大学附属総合情報センター（以下「情報センター」）で、図書館業務体験プログラムに参加しました。大学では、図書館情報学課程を受講し、司書資格を取得するための勉強をしています。そのため、実際に図書館業務を体験し、図書館員の役割と理解を深めたいという思いから、このプログラムに参加しました。



情報センターは、私が今までイメージしていた図書館とは異なる場所でした。このプログラムに参加するまでは、“図書館”は、実際に図書館に来て“本を探し”、“本を読み”、“本を借りる”場所というイメージを持っていました。しかし、情報センターでは、文献検索データベースが豊富で、電子ジャーナルの閲覧や、Webから学外文献貸借・複写依頼申込みが行える等のサービスを整えているため、来館することなく文献を利用することが可能となっていました。これは、情報センターでは、学外の医療従事者も利用の対象になっているからこそこのサービスだと感じました。

今回、情報センターで図書館業務を体験し、図書館員は、利用者の求めるサービスを提供できるよう、努力し続けることが大切だということ学びました。



## WEB of SCIENCE 講習会開催！！

Web of Scienceをご存知ですか？

自然科学、社会科学、人文科学分野の文献検索や、引用文献をキーとして文献間の引用リンクをたどり、必要とする情報を調べることができ、EndNote basicと連携しているので、必要な情報を保存したPC以外からでも参考文献を管理することができます。



クラリベイト・アナリティクス（旧トムソンロイター）から講師を招いての講習会です。この機会にぜひ、ご参加ください。

- 開催日時：11月1日（火）18：00 ●開催場所：基礎医学研究棟5階 PC 実習室
- 参加申込みは、附属総合情報センターHPよりお申込みください。

（利用サービス 内線：2418、e-mail: libserv@sapmed.ac.jp）

### ◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	2424	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス（カウンター）
学内所属員の文献複写依頼に関すること	2418	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	2417	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関すること	2416	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	2423	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	2416	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メール・アドレス、LANへの機器接続に関すること	2239	icccj@sapmed.ac.jp	総務・情報システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	2413	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks（パークス）」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮（liber）」の英訳です。

パークス  
**Barks**

Sapporo Medical University  
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人  
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目  
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail [libserv@sapmed.ac.jp](mailto:libserv@sapmed.ac.jp)